



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 田中 武
- 幹事 門前 庄次郎
- 会報委員長 田中 正躬



「春眠暁を…」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

こんにちは。4月23日(木)~4月25日(土)迄の3日間、2泊3日で台北東海ロータリークラブ創立20周年記念にお祝いに行って来ました。



23日は、友好クラブ(東京豊島東RC・福岡西RC・高山西RC・旭川東RCの4RC)、そして招待クラブ(大阪淀川RC・富士宮RCの2RC)との懇親会でした。凄い歓迎晩餐会でした。翌日24日は、玉蘭荘へ訪問視察させて頂きその後観光し、夕方よりクラブ例会に参加しました。25日は観光ショッピングをして岐路に着きました。

率直に言いまして、お国柄が全てが陽気で活発で、例えばカラオケ大会はシンセサイザーを駆使され順番待ち位で大変でした。我がクラブでは伊藤さん・内田さんが挑戦してくれましたが歌う曲が入っていないと怒りながら歌って頂き好評を得ました。

そんなこんなで大変楽しく行って参りました。我がRCは6クラブの中では23名と言うことで一番人数が多かったと思います。国際奉仕委員長の平さん、又会員でJTBの所長さんの田邊さん有難う御座いました。幹事の門前さん奮闘有難う、感謝致します。

私がここでもっと細かく詳細報告を致しますと、今度の8日の例会時の報告者、蜘蛛さん・塚本さん・井上さんのネタが無くなると思いますので、簡単な報告とさせて頂きます。ありがとう御座いました。

<幹事報告>

OR 1 日本事務局より

- ・5月のローレトについて
- 1ドル 118円(現行どおり)



○台北東海RCより

- ・創立20周年記念式典・祝賀会 ご参会のお礼

○ガバナーより

- ・地区大会記録誌

○濃飛分区ガバナー補佐より

- ・ガバナー補佐最終訪問について 5月29日(金)

○関中央ロータリークラブより

- ・第38回インターアクト年次大会 開催のご案内
- 会場 関市文化会館一
- 日時 8月15日(土) 10:30~受付

○飛騨慈光会後援会より

- ・飛騨慈光会後援会 第10回総会のご案内
- 日時 5月16日(土) 午後3時より
- 場所 飛騨慈光会 山ゆり福祉会館 1Fホール

○高山市社会福祉協議会より

- ・平成27年度高山市社会福祉協議会評議員委嘱状 古橋 直彦さんへ

・平成27年度第1回評議員会の開催について(ご案内)

日時 5月26日(火) 14:00~
会場 高山市総合福祉センター 3階作業室

○土岐ロータリークラブ・土岐中央ロータリークラブより

- ・合併についてのご案内 2015年7月1日より両クラブが合併し土岐ロータリークラブへ

○高山・デンバー友好協会より

- ・第15次高校生デンバー訪問派遣事業にかかる参加生徒募集に対するご協力について(お願い)

○日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会実行委員長より

- ・第25回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のご案内
- 大会日時 6月22日(月)午前7時スタート
- 大会会場 小樽カントリークラブ 登録費 19,000円
- 参加資格 全国のロータリアン及び配偶者ならびにゲスト

<例会変更>

- 高山 …5月21日(木)は、新緑例会のため 18:30~「八ツ三館」に変更
- 高山中央… 5月4日(月)は、定木日(みどりの日)のため 休会
- 5月18日(月)は、新緑例会のため 18:30~宇津江四十八滝「八光苑」に変更
- 5月25日(月)は、ガバナーエレクト事務開閉式のため 飛騨信用組合本町サテライト出張所3階に変更

<受贈誌>

台北市松年福祉会(玉蘭荘だより146号)美濃加茂RC(会報)、可茂RC(会報)、RI日本事務局(財団室NEWS)、ロータリー米山記念奨学会(ハイライトよねやま181号)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	33名	8名	41名	47名	89.13%
本日	35名	-	35名	46名	76.09%

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日

- 塚本 直人 5. 7
- 山本 善一郎(当日欠席) 5. 15



例会報告

◎夫人誕生日 (当日、ご自宅へ花束をお届け)

野戸 守	美津子 さん	5. 11
塚本 直人	智子 さん	5. 13
山下 直哉	理恵 さん	5. 26

◎結婚記念日

折茂 謙一	S38.	5. 6
新田 敬義	S44.	5. 4
井辺 一章	S52.	5. 12
斎藤 章	S56.	5. 25
堺 和信	S61.	5. 18
新井 典仁	H14.	5. 25

◎出席表彰

伊藤 松寿 30年 →



← 米澤 久二 15年

◎在籍周年記念表彰

なし

◎3ヶ月表彰

・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・田中 武 ・田中 正躬
・米澤 久二

地区協議会報告

田邊 淳

1、次期地区研修委員長 加賀修氏「ロータリーの本質と存在意義を考える」

会議研修会資料 (P5) RI 会長 エレクト「ラビ氏」の引用

「私たちは皆、このように生まれ、何でも掴み取ろうとしますが、この世を去る時には全てを残していきます。ロータリーを通じて私たちは何時までも続く本物の何かを残すことが出来るでしょう。 私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません」

「毎週の例会」=日々の鍛錬から「礼儀作法」を学び、実践する大切さ

- ・利己利他の考えの重要性
- ・今の RC は硬直化に直面している⇒成果が上がらない。
- ・RC の理念「奉仕の心」を見つめなおし、各地の RC は次世代へとこれを繋ぐ責務がある。

2、ガバナーエレクト岡田信春氏 「次期 RI テーマと地区活動方針」 資料 P4~5、8~9 を引用

RI テーマ「世界へのプレゼントになろう」

↓

RC の存在意義を示す時 (例としてポリオ撲滅)

会員増強

ダーウィン進化論を引用、生き残るのは強者では無く「変化に対応できたもの」

RC やり方を再検討必要

↓

地区活動方針「過去・現在・今 行動するロータリアン」

黒木 正人

1. ガバナー挨拶 石垣知康
 - ・ロータリーは熟年期を迎え変化を求められている。
 - ・世界には200 国 120 万人のロータリアンがいて、幅広いプログラムを実践している。
 - ・日本では、日本の特色を考えた変化していく必要がある。



地区概況報告

- ・会員の増強が第一である。
- ・特に女性会員の比率が4%弱で全国平均を1.5%下回っており、力を入れる。

2. 「ロータリーの本質と存在意義を考える」

次期研修委員会委員長 村橋 元

- ・ホトトギスとウグイスの話。
 - ・茶道を毎週やっていると人の価値観、次元の違いがわかるようになってくる。
 - ・ロータリーも毎週例会が行われており、茶道と同じである。
 - ・本物を見つけることは難しい。
 - ・本番より稽古を大事にする、礼儀作法を大切にすることが茶道
 - ・ロータリーの利己と利他。
 - ・実践することの大切さ。
 - ・毎週例会の大切さ。
 - ・ロータリーには、200 カ国 120 万人の会員がいるが、硬直化に直面している。
 - ・そこから脱却するには、ロータリーの理念を見つめ直す必要がある。
 - ・ロータリーに参加、行動、実践することで自己実現から究極の利他主義へ。
 - ・奉仕は他者のためでもあり、自分のためでもある。
 - ・職業感、経営感、倫理観、人生観など基本的な行動指針は奉仕の精神であることを次世代に伝えていこう!!
3. 「次期 RI テーマと地区活動方針」 ガバナーエレクト 岡田信春

・ロータリーは楽しみましょう。

(1) 国際ロータリーに参加して

- ・ヨーロッパ・アメリカご夫婦で参加、正装で集まった。
 - ・一分でも遅れたら会場に入れてもらえない尊厳さ。
- (2) 本会議ラビンドラン会長の言葉
- ・会員増強がロータジーにおける最優先課題と捉えている。
 - ・人生には物事を変える極めて重要な瞬間がある。
 - ・人は自分の存在の証し、ロータリーの存在の証しを世界に残したがる。
 - ・しかし本当に変化をもたらせたいと思うなら、ロータリーを前進させることによって、ロータリーの証しを世界に残すためにこの1年を使って欲しい。
 - ・人は誰でも命・愛・思いやる家族・学び・才能・能力などを与えられている。
 - ・しかし人生にはいつか終わりが来る。
 - ・その時、後世に何も残さなかったと悟るのだろうか。
 - ・人生は一度限り、この時間は短く、為すべきことはあまりに多い。
 - ・私たちの第一の、そして最も重要なチャレンジは、ポリオの撲滅。
 - ・過去25年分の活動、信念、献身、信頼で闘い続け、ポリオのない未来をプレゼントすると約束した。
 - ・まずはそれをプレゼントしましょう
 - ・ロータリーのあるべき姿が実現されていないという危機感。
 - ・そこで基本に立ち返る。

例会報告

- ・高い倫理基準、会員の多様性はロータリーの成功に欠かせないもの。
 - ・豊富な知識、誠実な会員のいる組織こそ真のプレゼント。
 - ・一方で、私たちは新しい現実で生きている。
 - ・世界中の多くの地域で薄れつつあるロータリーのイメージを変える必要がある。
 - ・若い世代の会員を重視もするが、根幹となる年配の会員も重要である。
 - ・年配の会員を遠ざけたり、経験豊富な退職者を疎んじてはいけない。
 - ・2015-16年度のテーマは「世界へのプレゼントになろう」
 - ・人は地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かを持っているはず。
 - ・私たちはロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に真の変化を起こすことができるはず。
 - ・その限られた時間は1年である。
- (3) 「会員増強におけるバランス」 パネルティ会長
- ・ロータリーとは何ですか？
 - ・800通りの答えがあるでしょう。
 - ・何と答えてわからない時は、100年以上の強い団体であること答える。
 - ・そしてロータリーの価値観、奉仕、親睦、多様なリーダーシップ、高潔性などを答える。
 - ・生きとし生ける者が成長するのであれば、ロータリーも成長するはずである。
 - ・しかし、アジア(インド)・アフリカでは活発な奉仕活動で会員が増えているにもかかわらず、全体ではこの20年間会員数は低減傾向にある。
 - ・クラブ会長の最も大事な役割は、会員にモチベーションを与えることである。
 - ・ただの管理者ではなく、クラブを高めるリーダーであるべきである。
 - ・会長は名誉職ではなく、第一線で働く人なのである。
 - ・家族・友人を呼び、ロータリーの中核的価値観を知ってもらう、それが発展の礎となる
- (4) 「21世紀における会員組織」マイケル・マクイーン
- ・21世紀の会員組織で生き残るものは、最も変化に対応できる組織である。
 - ・常に再調整を心掛け、ロータリーをロータリーたらしめているDNA(ロータリーの本質)を念頭におく必要がある。
 - ・ロータリーのDNAとは何か。
 - ・新しい会員を集める時に、時代と共に変わることのない価値観を忘れてはいけない。
 - ・妥協して中核的価値観を変えれば、その組織は長続きしない。
 - ・しかし一方で、ニーズと時代が変わる時にどのように組織を作り直せばいいのか。
- コダック社
- ・ただのフィルム製造会社になってしまった。
 - ・思い出を保存するにはどうすればよいかと考えていけば、変化に対応でき、今頃は業界独占をしていたかもしれない。
 - ・ロータリーがコダックの罠にはまることは避けなければならない。
 - ・ロータリーも時代のニーズに対応したやり方の再検討が必要。
- ジャック・ウェルチ
- ・組織の変化についていけないものは、終わりを迎える。
- ・例会の開始時、何故鐘を鳴らすのか？

- ・毎回卓話が、何故あるのか？
- ・クラブ会長は、何故たすきをかけているのか？
- ・例会では、何故わざわざ食事をするのか？
- ・それらは伝統で必要だと思いつつも、はまってはいけない。
- ・数十年前には意味があったが、今はその意味を失っているものをロータリーは残そうとしている。
- ・中核的価値観は変えてはいけないが、入会見込者の変化に応じて場合によっては、改革、見直しも必要となってくる。

若い世代の会員増強

- ・若い人は友達とネットワークを築くことが上手。
 - ・市民としての義務に対して強い意識を持っている。
 - ・世界の人口の半分が30歳未満であり、この層に働きかける。
- ロータリーはどうやったら地域社会に受け入れられるのか
- ・ヨットは向かい風の中で操縦するのは非常に難しい。
 - ・その場合は、まっすぐ前に進むのではなく、方向を変えながら進む。
 - ・ロータリーが直面している向かい風は、ロータリーが方向を変える機会でもある。
 - ・ポール・ハリスは、『ロータリーが可能性を実験するためには、常に変化し、場合によっては大きな変化をしなければならぬ』と言っている。
 - ・ロータリーは、常に進化し、時に革命的にならなければならない。
 - ・クラブと地区は革命的リーダーを望んでいる。
 - ・100年以上のロータリー、今はガラパゴス化している。
 - ・今こそ行動を起こすべきである。

4. 国際ロータリーのテーマ

『Be a gift to the world ～世界へのプレゼントになろう～』

5. 地区活動方針テーマ

『過去、現在・今、行動するロータリアン』～会長賞に挑戦しよう～

- ・楽しくロータリー活動を行う。
 - ・友人を作れるのがロータリー。
 - ・その為には楽しまなければならない。
 - ・ニコニコ笑いながら楽しく過ごす。
 - ・そして会長賞に挑戦しよう。
- 過去～歴史あるロータリー。
現在・今～時代は変化し、その結果いろいろな問題が発生。
行動～会長賞に挑戦する。

5つの挑戦

1. 会員増強と維持

- ・コミュニケーション不足と世代間のギャップ
- ・クラブ活動など例会以外のコミュニケーション。
- ・お互いが考えを共有しようとする努力。
- ・会員増強を全員が認識。

以下4項目から、3項目を達成する

- ・会員数の純増～会員数が49名以下のクラブは、少なくとも1名の純増を達成する。
- ・女性会員の純増～会員数が49名以下のクラブは、少なくとも1名の純増を達成する。
- ・会員維持率の向上～昨年度より少なくとも1%向上させる。
- ・新会員推薦者の増加～新会員を推薦した会員の比率を、昨年度より、少なくとも1%増やす。

2. 財団寄付の推進

- ・どれほど与えたかで評価。
- ・会員一人平均150米ドルの寄付を達成。

3. 人道的奉仕の参加と推進

- ・RCC(ロータリー地域社会共同体)の提唱

4. 青少年(新世代)への貢献

5. デジタル化の推進とオンラインツールの利用

ロータリーに輝きを

例会報告

田中 晶洋

地区研修・協議会の報告をさせていただきます。

私の報告担当はバスの車内の様子ということでしたので、まずは車内の様子から報告いたします。

行きのバスの中では、皆さん日頃のお疲れが出たのかはと交通さんのバスの乗り心地が素晴らしかったのかお休みになられる方が多いようでした。片道3時間程かかるということで、古橋次期会長と遠藤次期幹事のご配慮で、終了後の宴会はバスの中で移動時間を利用して設けて頂きました。食べきれないほどの御馳走と、飲みきれないほどのお酒を用意していただきました。

遠藤次期幹事が車内の飲み物やおつまみの世話を一生懸命して下さったのと、田邊さんが添乗員さんのようにみんなの飲み物やゴミなどお世話下さったのを見て、お二人の姿がそのまま職業奉仕でありクラブ奉仕なんだと痛感いたしました。

そんな中、ニッカウイスキーの「竹鶴」が遠藤次期幹事が用意して下さったお酒の中にありまして、岡田ガバナリーエレクトがこれさえあれば他の酒はいらないと仰って「ウイスキーのブラックコーヒー割り」を早速試してみました、コーヒーが私が自販機で買った安い缶コーヒーだったせいだと思うのですが今一つでした。

宴会をしながら5月1日の例会で報告をしなければならぬと思い、メモをとるのに一生懸命であり酔えなかったんですが、話題としては先日の職場訪問例会での飛騨産業さんの職人の30カ条の話がやはり最初の話でした。「食べるのが早い人から現場に行かせてもらえます。」位しか覚えていないんですが、かなりインパクトのある職場訪問だったと思います。

話は戻りますが、私の隣が下屋さんだったんですが、中学時代に柔道部で遠藤さんが先輩で当時はお二人とも痩せておられたという話と、あの下屋さんが遠藤先輩は怖かったというお話が歴史を感じさせるお話でもありました。

分科会では新入会員の分科会だったのですが、そこで講義をされた大垣西ロータリークラブの丸尾謙二さんの話が印象的だったので少しお話しします。

「アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した職業奉仕という概念は、その当時のアメリカで悪徳・悪質なビジネスが横行していた、米国人が奪い合っている社会の中で、ロータリーの奉仕理論が生まれた。今の日本人は職業奉仕の精神をもとと持っているので、職業奉仕と言われてもあまりピンと来ないかもしれない。」

なるほどと思いました、日々まじめに仕事を一生懸命、世のため他人のために働く事が職業奉仕であり、その上にクラブ奉仕があり（そのクラブ奉仕が例会出席であり）そのうえでロータリーを通して社会奉仕や国際奉仕、青少年奉仕があるのだと知ることができました。何を今さらと思われるかもしれませんが、自分の中で消化できていなかったものが先日の研修で一気に消化できた気がします。



<ニコニコボックス>

●田中 武さん、門前 庄次郎さん

台北訪問、一緒に行って頂きました皆様には有難うございました。お陰様で、事故も無く楽しく行って来られたことに感謝いたします。また、多くの会員の皆様にカンパを頂き有難うございました。台湾では、台北東海RC様に随所で熱い歓迎を受け、20周年記念式典も盛大に行われました。詳しくは来週の例会に報告頂きます。さて、本日は地区協議会報告です。いよいよ来年度も助走を始める時期に来たようです。黒本さん・田邊さん田中晶洋さん報告宜しくお願いします。

●古橋 直彦さん、遠藤 隆浩さん

本日は4月19日鈴鹿で開催の地区研修協議会の報告です。黒本さん、田中晶洋さん、田邊さん、よろしくお祈りします。

●伊藤 松寿さん

台北東海の20周年記念式典の前日、田中会長より我が高山西RC創立50周年の招待状をJ-Study会長に手渡していただきました。沢山の方に高山へ来て頂ける感触を受けおおいに感激いたしました。

●平 義孝さん

台北東海RCの20周年記念式典に23名出席し無事役目を果たして来ました。我が高山西RC創立50周年記念式典のご案内をして、また玉蘭荘にも慰問し、大変多忙ではありましたが出席者全員無事帰ることが出来ました。会員皆様のご協力に感謝致します。

●内田 幸洋さん

台湾での歓迎パーティーで当クラブ代表で伊藤さんと二人でカラオケを歌わせていただきました。皆さんの応援のおかげで大絶賛でした。

●脇本 敏雄さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、堺 和信さん、遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん、蜘蛛 康介さん

先週台北東海RCの20周年記念式典に行って来ました。参加された皆様お疲れ様でした。とても楽しく充実した旅でした。また機会があれば是非参加させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。と米澤さんが申しておりました。ちなみに蜘蛛ですが、そのゴルフコンペで3位に入賞させて頂きましたので少し上乗せでニコニコさせて頂きます。

●狭土 貞吉さん

①この身体でも30年の皆勤。ありがたいことです。我が高山西RC創立50周年への思いで2万両喜捨させて頂きました。

②台北行きの皆さんご苦労様でした。

③井辺さん気遣いありがとう。同窓会大成功でした。

●中島 弘人さん

・地区協議会に参加させて頂きありがとうございました。以前会員だった岐阜西RCの方にも再開でき感謝しております。
・岐阜指定金も無事1ヶ月が過ぎました。引き続きよろしくお祈りします。

●鴻野 幸泰さん

先日の職場訪問例会、飛騨産業さんへバスを利用していただき有難うございました。少しニコニコへ。

●新田 敬義さん

4/12妻への誕生祝いありがとうございました。大変喜んでおりました。